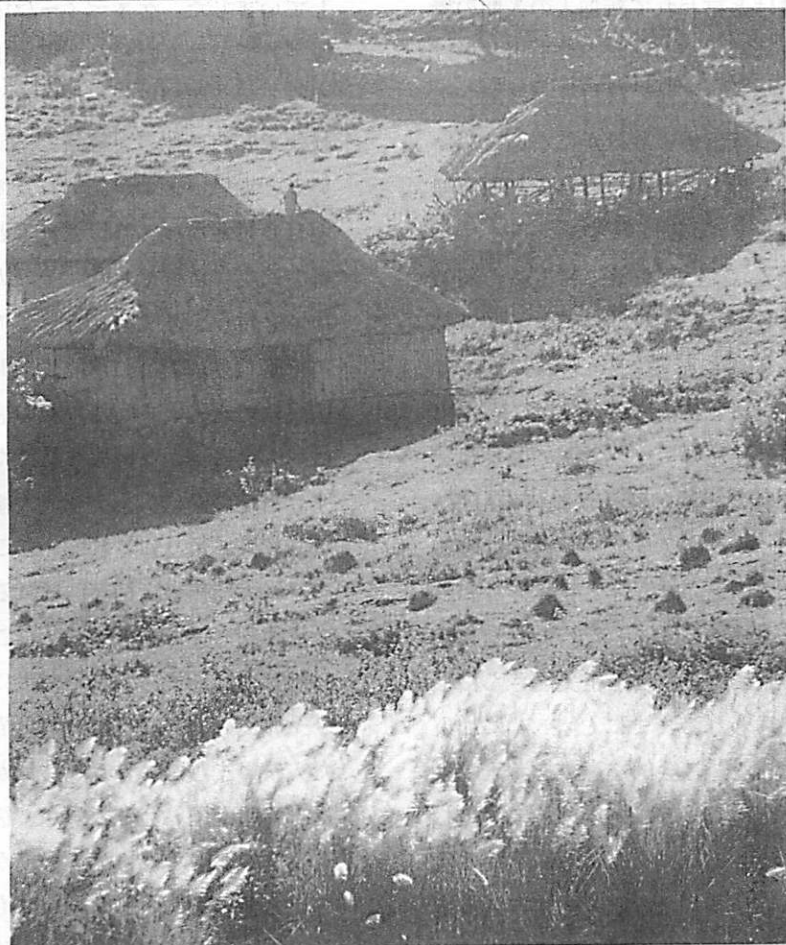




名古屋いのちの電話



(写真 文珠幹夫)

雑草

葉祥明

草と呼ばれても

本当は名前があるんだ！

雑草と呼ばれても

小さな花を咲かせるし

仲間だつてたくさんいる

夏の太陽にも負けないで

庭一杯に生い茂り

虫達のお宿にだつて

なってるんだ！

雑草と呼ばれて

無慈悲に刈り取られても

何度でも大地から立ち上がる

逞しい君達のように

僕も生きなくては

銀の鈴社発売

ジュニア・ポエム双書57

「ありがとう そよ風」より



来し方を顧みて

菊島正雄

機関紙に何か書けと言われて新加入の人間の義務と考え引きうけました。が実際にを申し上げるかと言って私のような人間には自分が経験してきた事から何かを引き出すよりほかにないと思いますので、真に僭越ですがそんなことで紙面を埋めさせていただきます。お許し下さい。

私は学校を卒業して昭和29年に名古屋の陶磁器製造会社に就職しました。長期に亘る米国営業駐在員の仕事から国内に転勤になったのは18年ほど前で、その時やっと自前の家を持つことが出来ました。やがて隣に住む人が暁学園の園長祖父江文宏氏と知りました。祖父江氏が後にCAPNA(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち)の初代理事長となるに従いその忙しさと粉骨碎身の献身振りが目に付くようになりました。たまたま会社のほうがお役ご免になったとき祖父江さんに手伝ってくれぬかと言われるままにCAPNAに加入することになりました。社会的な意味を考えたわけではなくただただ祖父江さんの忙しさに同情したからです。祖父江さんは残念なことに不治の病に見まわれ亡くなれました。その直前に名古屋いのちの電話に入るようにとの話があり祖父江さんはCAPNA設立につき大変なご援助を頂いた団体なので是非ということなのでお仲間に加えていただきました。別に特技がある訳でもない平凡な人間ですのでご期待に添うようなことは出来ないと思いますがよろしく願いいたします。

米国駐在は長年にわたったものですからいろいろなことがありました。ケネディー大統領が暗殺された時はジョージア州アトランタ市に駐在

していました。ケネディーは広くアメリカ国民に愛されていた人だったと思いますが、テレビ映りが良く言語明瞭有言実行で本当に歯切れの良い大統領でした。他の大統領でも同じだったのではないかと思います。テレビで今日言ったことが明日政策となって施行されるといった明快さと実行力は実に新鮮でした。その人が白昼大観衆の目前でと言うよりテレビを通じて全世界が見ている前で暗殺されるという前代未聞の事件にアメリカ国民は声を失いました。私の感じでは皆2~3日は何も手につかない放心状態だったように思います。当時いかにケネディー大統領が一人一人のアメリカ人に頼りにされていたことかと思い、ケネディー大統領の人柄が偲ばれるとともに日本との政治体制の違いをも実感したことでした。

話は変わりまして私の友人にとっても貧乏なイタリア移民の子でビジネスの世界で大成功をおさめた人がいました。貧しい移民が最初にできる商売は青物屋が多いわけですが、彼も毎朝はだして野菜を洗いお客さんに配達してから学校へ行ったものだと言います。その頃いつもの配達道の筋に大きな素晴らしい家があって、彼は子ども心に今にお金を儲けてあの家を買って取ってやると思ったのだそうです。何年もして刻苦勉励の末彼はその家を本当に手に入れました。彼は真っ赤なフェラーリを持っていましてこれを通勤に使っていました。私が会社を訪問した際に見ると会社の駐車場でいちばん目につく所に駐車してあります。彼によればこの車を従業員が見るたびに自分も努力してあのような素晴らしい車を持つ様になりたいと

思ってもらいたいのだそうです。貧しいイタリア移民の子の子どもでもここまでやれるのだという事を伝えるメッセージであると言います。成功の度合いを財産の大きさに競うことはしない我々には違和感もありますが、しかし思うところを包み隠さず発表してお互いに切磋琢磨して成長して行くと言う社会を如実にあらわしているエピソードだと思うのです。

これがアメリカの文化の1つだろうと思うのですがまたこんなこともありました。年上のアメリカ人従業員の女性ですが、何かの折に自分の年齢というものは自分の思う歳だと思えば宜しいと

聞かせてくれたことがありました。これに似たような言葉はアメリカが日本を占領していた時代マッカーサー司令長官の後ろの壁に「青春とは人生のある期間ではなく。。。』という詩

句があったということも聞いていたような気がしていました。その後元東洋紡会長宇野収氏と作山宗久氏の共著として昭和61年に出版された「青春という名の詩」という本によって、これはサミュエル・ウルマンと言う人の詩で1920年ごろからアメリカ人の人口に膾炙されている言葉であると知りました。『青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方を言う。。。』という言葉で始まるこの詩が短い米国の歴史の中で生き生きと伝えられているアメリカ文化の一端であろうかと思う訳です。

そして思い出すのはアメリカ軍人と結婚して米国に渡り2児を残して亡くなった日本人の女性のことです。この方とは私の妻が病院で知り合いました。福岡の人でとてもかわいい快活な方でしたが二人目を出産の後、折悪しく11月12月の家



族大集合の祝賀シーズンになり、主婦として全てを完璧にやり遂げたのがたたって難病に取りつかれてしまったようです。いつも家内が見舞って元気づけたりしていたのですが、福岡の方々の反対を押し切り渡米したとのことで連絡も途絶え寂しかった筈ですが最後まで快活に振るまい、そして亡くなってしまいました。当時のこのことは私にとって大和撫子の悲壮な死というふうに思われたのですが、考えてみるといま我々が問題にしている男性が女性の家事育児に積極的に関与しない社会慣習の犠牲ではないかと思うようになりました。夫はアメリカ人でしたが軍人であり、また日

本人を妻にしたことで日本人の習慣が身についてしまったものか、我々日本人男性と同じ間違いを犯してしまっていたのではないかと思うのです。私も現役時代は同様でした。いや現役を卒業してから

も頭の中はあまり変わっていなかった様に思います。今にしてやっとその辺りを正しい方向に向けて行かねばいけないのだと思うようになりました。

現在日本では政界財界官界の構造改革が絶対命題となっています。それは恐らく日本人の心の持ち方の構造改革を強いるものなのだろうと思います。実際個人経済的には明らかにその方向に行かざるを得ない状況になってきています。私は男性がもっと家庭内のことに頭と体と時間を使うよう企業が積極的に社員を教育するよう働きかけて行きたいと考えています。これも日本のあらゆる面で行き詰まった現状を救う重要な一環であると思うのです。

(名古屋いのちの電話 評議員)

2002 年度 事業報告

養成委員会

養成委員長 長 瀬 治 之

13 期生の養成講座が平成 14 年の 4 月から 77 名の参加者を迎え始めました。今回の養成講座のために、養成委員がどんな相談員を養成するのかといった基本的な話し合いから始まり、そのためにはどんな講座を用意するかといったことを一年間かけ話し合いやっとこの 4 月から相談員の養成を始めることができました。

今回の養成講座での新しい試みは二つあります。一つはいくつもの関所を設けて相談員の質を高めようとしたこと、二つは現役の相談員が養成に参加したことです。前者のことは講座を前期・中期・後期と三つに分け、それぞれの期が始まる時に審査の機会を設けました。前期では電話相談に必要な知識を講義する中で自分自身で電話相談に参加するかどうかをまず判断してもらう。中期が始まる時には養成委員が面接をして適正を審査する。中期の受講生は辞退された方も含めて半数近くになり、39 名となりました。中期では人間関係トレーニングとロールプレイを行いました。人間関係トレーニングでは二つ目の新しい試みとして現役の相談員が半年に及ぶ研修を経て養成の一翼を担いました。その時、相談員の養成と同時にこれから一緒に電話相談活動ができる人を選んでいくという選考も兼ねました。ロールプレイは専門家に依頼しました。後期に進んでもらうための選考は、人間関係トレーニングを担当した相談員の目とロールプレイを担当した専門家の目との両者の意見をクロスさせることで審査の厳正を期しました。しかし、何回も審査をすることでほんとうは電話相談にむいた人を落としたのではないかという反省がいつもありました。

4 月から始まった養成講座は平成 15 年の 3 月にやっと中期が終わり、4 月から実際に研修生が電話に出る後期の講座が始まる予定です。

相談委員会

相談委員長 兼 田 智 彦

相談委員会は名古屋いのちの電話の毎日の相談事業が円滑に行われるように活動しています。主な活動は以下の通りです。

- ・ 定例委員会を 10 回開催しました。
- ・ 相談員の継続研修を 15 グループで延べ 160 回行いました。全体の研修を 17 回行いました。グループスーパービジョン、ピアスーパービジョン、個人スーパービジョンをそれぞれ行いました。
- ・ 全体フォーラムを 2002 年 9 月 7 日(土)みこころセンターホールで開催し、60 名の参加を得ました。基調講演は特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ理事長の大西光夫さんをお招きして、「市民活動の現状と課題」について話していただきました。電話相談員や友の会の役員によるミニシンポジウム「いのちの電話ボランティアにどうかかわるか」でボランティアとしてのそれぞれの役割や組織の諸問題について話し合いを深めました。
- ・ 日本いのちの電話連盟が行った「自殺予防いのちの電話」に 12 月 1 日～7 日の間参加しました。354 件の相談電話を受信し、その内 136 件(38%)が自殺念慮のある利用者でした。

広報委員会

広報委員長 長 井 潤

広報委員会の働きは「より多くの人々にいのちの電話のことを知ってもらい、より多くの支援を得る」ための各種啓蒙活動やイベントを、立案から評価反省まで実施することが主な役目です。

本年度も多くの方々のご協力で、機関誌を3回発行し、2回のチャリティーコンサートを開催、そして2月には公開講座を実施いたしました。また、相談員と賛助会員の方々に続けている手描きの誕生日カードも、係わる方々の多大なご奉仕で発送していることを感謝申し上げます。さらに本年度の新しい働きとして「友の会」が発足いたしました。この会は、これまで相談員として、また委員としてご協力下さった方々と、勿論今もご協力下さっている方々の有志をつのり、具体的な奉仕で「いのちの電話」を支え、支援していこうとするもので、これからの働きに期待をしています。

機関誌は本年度より、読み易さと内容の更なる充実を願い、紙面構成により工夫をいたしました。ご意見をいただけますと幸いです。

チャリティーコンサートは5月の「馬頭琴と朗読」、12月の「胡弓とモンゴル民族楽器の調べ」共、大変素晴らしい内容でした。また、この収益金は私達の大切な資金となっています。しかし年々チケットの販売には大変苦勞が多くなっていることが、少々残念です。これからも「感動と良質の音楽」を主旨に企画をいたしますので、是非ともご協力をいただきますようお願いいたします。

これらそれぞれの働きは、決して派手で大きなものではありませんが、お一人お一人のご参加が「いのちの電話」を支えることをご理解いただき、これからもご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

財務委員会

財務委員長 西 沢 信 正

財務委員会は2カ月おきに懇談会を開き、年3回の財務委員会を活性化しています。いのちの電話の支えは財務にあります。財政的にどのような運営をすべきかの中心課題に向けて、毎回それぞれの意見を戦わせています。

2002年度の決算報告にもありますように、最大限の支出抑制、特に人件費の抑制で幸い赤字を免れ、いくらかの予備費を計上することができました。相談員の皆さんが積極的に会費を払ってくださるよう話を進めてくださったことと、事務局の努力で賛助会費を払っていらっしゃる会員に対する呼びかけや、会費の送金為替に名前を書くなど、細かな配慮が活きたこととしてあげられましょう。

法人会員もすでにご存じとは思いますが、今日の企業の状況から見て法人の会費ないし寄付は大変難しいのです。今後ともいろいろな企業に、積極的に働きかけを、事務局を中心に進める必要を確認しています。

これは研修費の支出や今厳しく言われている東海大地震に対しての予備費を確保しておく必要がありますので、いざというときに備えることが必要と考えて、今回およそ50万円を地震対策として用意いたしました。事務局に飲料水を用意したり、帰れなくなった人たちのための応急備品も準備しなければなりません。そのほか、会員の皆様からの提案も受けて準備すべきだとの意見がまとまりました。

相談員の安全に万全の準備をすることを確認し、相談員の訓練、養成に最大の支援をする財務運営をすることを話し合っております。

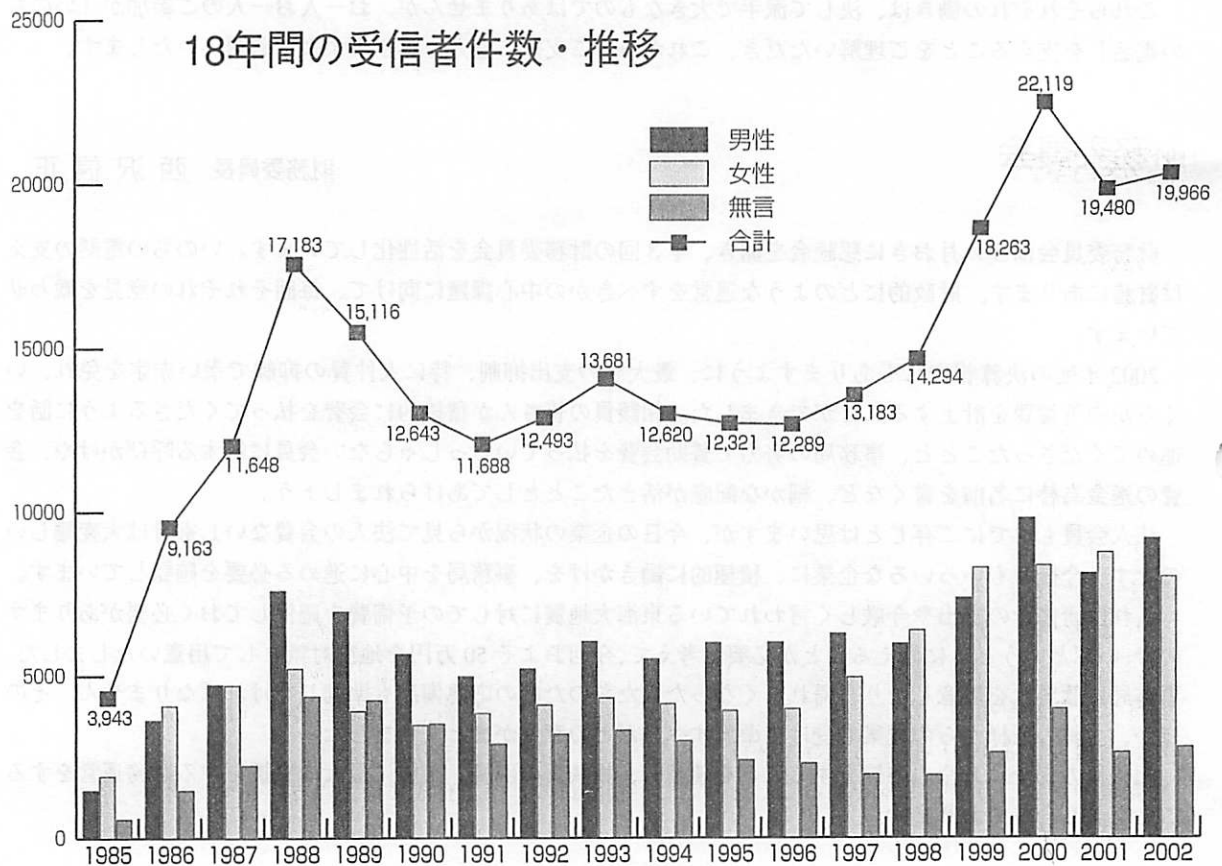
グラフで見る名古屋いのちの電話

○ 18年間の受信件数の推移 (1985年7月～2002年12月)

1985年の開局からの総受信件数は、247,874件で、相談員との会話のなかった無言電話44,994件を除きますと、相談電話の受信件数は、202,880件となります。2002年度は一日あたり、47件の電話を取っています。

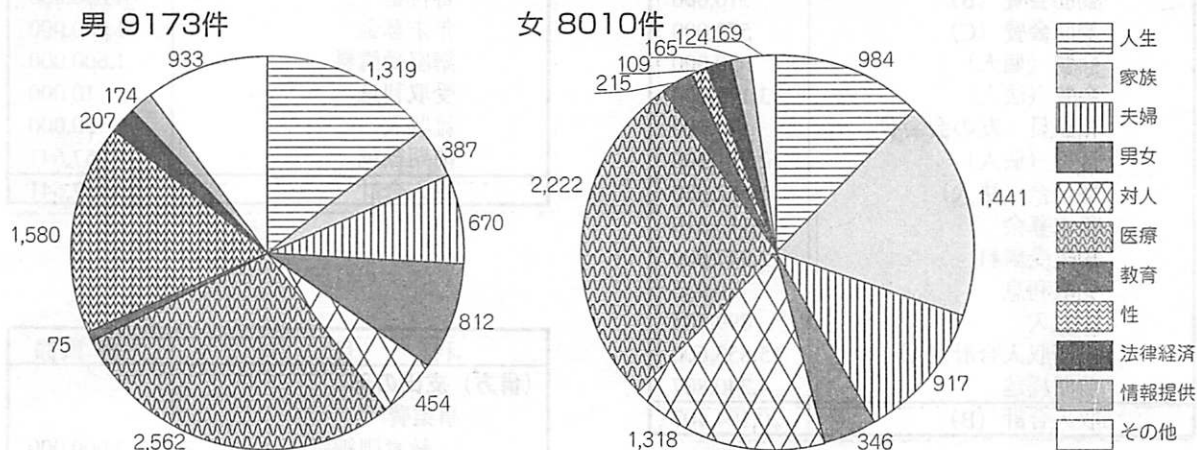
また、2001年度から始まりました厚生労働省の後援による、自殺予防のフリーダイヤルも2年目を迎え、12月1日から7日までの一週間で354件の電話相談を受けました。

	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
男性	1,465	3,626	4,721	7,603	6,979	5,670	4,970	5,210	6,069	5,514	6,025	6,038	6,301	5,989	7,364	9,800	8,114	9,173
女性	1,905	4,071	4,700	5,224	3,905	3,469	3,836	4,094	4,306	4,125	3,911	3,966	4,940	6,392	8,289	8,357	8,749	8,010
無言	573	1,466	2,227	4,356	4,232	3,504	2,882	3,189	3,306	2,981	2,385	2,285	1,942	1,913	2,610	3,962	2,617	2,783
合計	3,943	9,163	11,648	17,183	15,116	12,643	11,688	12,493	13,681	12,620	12,321	12,289	13,183	14,294	18,263	22,119	19,480	19,966



2002年度 相談内容別受信状況（1月～12月）

		人生	家族	夫婦	男女	対人	医療	教育	性	法律経済	情報提供	その他
総計	男	1,319	387	670	812	454	2,562	75	1,580	207	174	933
	女	984	1,441	917	346	1,318	2,222	215	109	165	124	169
	計	2,303	1,828	1,587	1,158	1,772	4,784	290	1,689	372	298	1,102



1. 問題別統計（2002年1月～12月）

2. 自殺念慮に関する件数

分類科目		総件数 17,183	100%	順位	総件数 2,056	100%	順位
人 生	自殺（自殺念慮）、生き方、生き甲斐（哲学的意味あいの強いもの）、孤独、性格、職業、宗教、趣味、その他	2,303	13.40	2	522	25.39	2
家 族	相互理解、親離れ、嫁・姑、親族、家出・蒸発、家族の婚姻、扶養介護、その他	1,828	10.64	3	104	5.06	4
夫 婦	不満（性格・行動など）不和、浮気、性生活、家族計画（出産・妊娠・中絶）、家出・蒸発、別居・離婚、単身赴任などによる別居尾・その他	1,587	9.24	6	106	5.16	3
男 女	ボーイフレンド・ガールフレンド、恋愛、肉体関係、同棲、結婚、その他	1,158	6.74	7	50	2.43	6
対 人	職場、近隣、学校、友人・知人、グループ・諸団体、その他	1,772	10.31	4	72	3.50	5
保健・医療	心の不安・神経症的訴え、精神の病気（治療中など明らかな場合のみ）、薬物乱用・中毒、酒癖・アル中、身体の障害、身体の病気、健康保持・増進、その他	4,784	27.84	1	1,113	54.14	1
教 育	育児、しつけ、情緒・発達障害、学校生活、いじめ、学業・進学・進路、登校拒否・家庭内暴力、その他問題行動、その他	290	1.69	11	6	0.29	11
性	情報提供、性への疑問・不安、病気・性器・生理の不安・問題、性関係（妊娠・中絶・出産・性行為を含む）*、近親相姦*、同性愛、不健全な性（*を除く）、性被害、その他	1,689	9.83	5	27	1.31	8
法律・経済 社会・環境	法律問題（戸籍・相続）、環境・公害、金銭・経営問題、福祉・社会保障、福祉・社会保障、政治・行政、風俗・習慣・文化、人権差別・その他	372	2.17	9	28	1.36	7
情 報	情報提供、いのちの電話について、お礼、その他（「またあとでかけます」など）	298	1.73	10	12	0.58	10
相談外	からかい、いたずら、非難・嫌がらせ、テレフォンセックス・誘惑、事務局への電話、その他（まちがい電話「もしもしだけ」）	1,102	6.41	8	16	0.78	9

2002 年度収支計算書

単位：円

科 目	決 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
賛助会費 (A)	1,190,000
賛助会費 (B)	710,000
賛助会費 (C)	573,000
会費 (個人)	50,000
会費 (法人)	3,178,000
相談員・友の会会費	178,000
寄付 (個人)	2,521,300
寄付金 (法人)	1,562,080
年末募金	1,113,510
講座受講料	2,947,000
受取利息	80,935
雑収入	899,785
当期収入合計 (A)	15,853,600
前期繰越	4,340,807
収入合計 (B)	20,194,407

科 目	決 算 額
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	3,095,539
広報費	571,374
連盟分担金	258,000
諸会費	20,000
事業費合計	3,944,913
管理費	
人件費	3,930,400
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	36,750
光熱水道費	654,063
通信費	442,102
法定福利費	91,513
賃借料	115,920
旅費・交通費	6,260
文具印刷費	409,332
営繕費	144,217
消耗品費	205,870
雑費	271,626
管理費合計	8,991,853
当期支出合計 (C)	12,936,766
当期収支差額 (A) - (C)	2,916,834
次期繰越収支差額 (B) - (C)	7,257,641
支出合計	20,194,407

2003 年度予算

単位：円

科 目	予 算 額
(貸方) 収入の部	
助成金	850,000
会費	6,000,000
寄付金	4,000,000
年末募金	1,000,000
講座受講料	1,600,000
受取利息	10,000
雑収入	50,000
前期繰越	7,257,641
収入合計	20,767,641

科 目	予 算 額
(借方) 支出の部	
事業費	
教育訓練費	3,000,000
広報費	600,000
調査研究費	10,000
会議費	10,000
特別事業費	10,000
連盟分担金	300,000
諸会費	20,000
事業費合計	3,950,000
管理費	
人件費	4,000,000
家賃	2,520,000
共益費	163,800
車庫賃借料	-
光熱水道費	650,000
通信費	500,000
法定福利費	100,000
賃借料	115,920
旅費・交通費	50,000
文具印刷費	400,000
営繕費	150,000
消耗品費	300,000
雑費	400,000
予備費	5,467,921
25 周年記念事業引当金	1,500,000
東海地震対策費	500,000
管理費合計	20,767,641
次期繰越	0
支出合計	20,767,641

回想「稲むらの火」

木本精之助

快晴の「こどもの日」、日課となった早朝散歩の帰途ポケットのラジオから、かつて小学国語読本で学んだ懐かしい教材「稲むらの火」の話が耳に入ってきた。NHK ラジオ第1放送の、災害史に学ぶ「稲むらの火と防災教育」という時事解説風の番組だった。

番組では、はじめに明、暗二つの災害のケースが引き合いに出された。その一つは、今から20年前1983年5月26日の青森、秋田沖に発生したM7.7の日本海中部地震による津波によって100名からの死者が出たケース。その中に13名の小学生が含まれていた。秋田県の内陸部から遠足にきた4、5年生の小学生が、地震のおさまった男鹿半島の海岸にバスで到着し、浜に出て弁当をひろげたところに津波がおしよせた。地元の人々の救援も空しく13名が帰らぬ人となった痛ましい事故であった。強い地震のあとには津波の襲来を警戒するのが当然ではないかとの厳しい意見とともに、もしもあの教科書が今も用いられていたならこの事故は未然に防ぎ得たのではないかとの反省が聞かれるようになった。

第2のケースとして見直された教材とは、昭和12年から22年まで小学5年生の国語教科書に記載された「稲むらの火」のことで、印象深く教訓に富んだ物語が子供の心をとらえ昭和ひと桁生まれの世代には今もなお記憶に残る優れた教材と評されている。村の荘屋の五兵衛が地震に異常を感じて自宅のある高台から海をみると、海水が風向きとは逆に沖の方へ一斉に引いていくのが見えた。「津波が来る」と感知した。海辺近くに住む村人に知らせるためには一刻の猶予も無い。五兵衛は咄嗟に判断した。庭先にある刈り取ったばかりの稲束を集めた稲むらに松明で火を放った。高

台の荘屋宅の火災に気付いた村人は、急ぎ高台に集まってきて荘屋の全収穫と引き換えに津波の難を逃れることが出来た。

少年の日にこの教材を学んだ時、私は津波の恐ろしさをあらためて知るとともに、かけがえの無い自分の収穫の全てをなげうって村人の尊い人命を救った五兵衛の気高い奉仕精神とその働きに強い感動を覚えたことを鮮明に記憶している。

子供向きの教材ではあるが、この物語には地震や津波に関する基礎的知識や危険時の対応策が的確に示され、しかもそれらが人間愛と犠牲的精神に裏付けられた行動によって表されている。この教材が防災教育の不朽の名作と評される所以であろう。

東海地震、東南海地震の発生がさし迫って懸念され、名古屋市は東海地震の防災対策強化地域に指定されている。この地震は「起こるかもしれない」ではなく、時期は限定できないが近い将来「必ず起こる」と警告されている。

防災の理念を正面切って論ずること以上に、「稲むらの火」のような感動的な物語の再活用が防災知識の普及、啓蒙に役立つものと思われる。

(名古屋いのちの電話理事)

— 付記 —

この番組により「稲むらの火」のモデル実話が安政元年紀州広村に在り、この話をもとに小泉八雲が短編小説 The Living God を著したこと等の関連事実を教えられた。

名古屋学院大学 名古屋北教会社会奉仕委員会 日本基督教団名古屋教会
 聖霊奉侍布教修道女会 豊田ボランティア協会 豊田彬子 幼き聖マリア修道会 昭和美術館
 日本基督教団金城教会 名古屋神召キリスト教会 名古屋東教会婦人会

法人賛助

名東歯車株式会社 オフィス・コア (株) (株) 杉浦製作所 黒金化成 (株)
 (株) NTT クオリス東海支社 ホーユー株式会社 立松モールド工業 (株) 大橋鉄工 (株)
 (株) 植屋 大島造園土木 (株) 名古屋中村法人会 トヨタ L & F 中部 (株)
 (株) タケヒロ トヨタ車体 (株) (株) 青山製作所 矢作建設工業 (株) 万能工業 (株)
 武田機工 (株) (株) 岡田パテントサービス (株) オチアイネクス落合金光

助成金

社会福祉法人 東海テレビ福祉文化事業団

点滴

キルトは紀元前からあったといわれています。キルトは三層のものを合わせて一
 緒に縫ったものをいいます。上と下の布の間に専用の綿（昔は紙だったり布の時もあり
 ました）をはさみキルト糸でキルトをします。パッチワークとは布と布を縫い合わ
 せ形づくる事をいいます。ですからパッチワークキルトは一番上の布をパッチワーク
 してある布を使い綿ともう一枚布を合わせキルトをしてあるものです。専門的にキルト
 といわれるものはパッチワークはなしの二枚の布と綿でキルトし、大きさはベッドカバーの大きさ
 のものを「キルト」とアメリカではいっています。現在のパッチワークキルトはアートの表現する
 ものも増えてきていますが、もともとは殆どが生活に密着した物を作っていました。今、沢山の人が
 知っているキルトは、アメリカンキルトとよばれ、200年程前イギリスから移民と共にアメリカに渡
 り、綿花や木綿の産業と共にさかんになりました。特徴はパターンと呼ばれる身近なもの、例えば家
 の形をしたハウスのパターン、星の形のスターのパターンで、開拓時代着られなくなった洋服の小さ
 な布を縫い合わせ作りました。いろいろなパターンの種類は1000以上あります。キルトはすればす
 る程丈夫になり、寒さも防げます。又多くのキルトは手縫いで一針一針縫っていきますので長い時間
 がかかります。私は手縫いという行為は、それ自身いやしの効果がある様に思います。一心に縫って
 いますと心がやすまり、今日あった出来事を改めて思い返したり、悲しかったり、つらかった事もや
 すらいできます。日本でも雑巾や刺し子の手法で綿入れやふきんを縫う事がありました。昔の女性は
 家庭や社会の中での嫌な事から心をやすめたり、忘れないという想いで縫ったと言われ、穏やかな気
 持ちで縫った時の出来上がりは、やわらかく、怒りながらの仕上がりはかたく出来上がったと言われ
 ています。それは生活の知恵だったかもしれません。電話をかけてくる人達も、話すだけで悩んだり、
 死にたいと思っている気持ちや、少しはやすらぐかもしれません。心がやすらぐという事を考えると
 キルトと共通の部分がある様に思います。私はキルトを始めて25年になりますが、布と布を縫い合
 わせている時、その布が私に会いたいと思っている様に時々思ったりする事があります。電話担当に
 出ている時も今日の利用者と会う縁があるのかなあと感じる時があります。想像性と創造性、共に大
 切な事だと思います。

(S. H)

好評販売中

名古屋いのちの電話 チャリティコンサート

泉 堅 歌とメッセージ 特別出演 石黒 麻利子

あなたは、愛されています！

「いのちと愛と平和」のメッセンジャー、シンガーソングライター泉堅が
歌い語りかける感動のコンサート

8月7日(木) 18:00 開場 会場: 中央教会(地下鉄栄5番出口)
19:00 開演 入場料: 2000円(当日券 2500円)

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

いつも資金ボランティアとして会費やご寄付をいただき有難うございます。心から御礼申し上げます。
会員の皆様の倍旧のご支援と共に、会員増加の運動にもお力添えを賜いますようお願いいたします。
社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間 5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般寄付はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期・年末寄付

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会

口座番号 UFJ 銀行大津町支店(普) 477029

郵便振替口座 00810-8-53758

お問い合わせ…社会福祉法人愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話事務局 ☎ 971-5181

—— 編集後記 ——

この号は、事業報告を中心にお届けいたします。各委員会の内容、働きがご理解いただけたでしょうか。財政面では、きびしい社会情勢の中で、多くの企業や個人の方々のお支えをいただき感謝です。しかし、年々苦しくなっている数字を見ていただけたと思います。今後も一層のお支えをお願いいたします。

編集のスタッフも新しくなり、紙面をかえていこうと話しあう中で、1・2頁を使って賛助会員の方など外側から支えてくださる方々に書いていただこうと企画します。今回は評議員に加わってくださった菊島氏にお願いいたしました。9頁の木本氏の「稲むらの火」は懸念されている東海地震、東南海地震の防災の備えのためにも多くのことを教えられました。

表紙の詩は続けたいと思っています。毎号の詩の中から、いのちの尊さ、大切さ、生きる力、やさしさ、あたたかな愛などなど読みとっていただければうれしいです。また、詩にそえた写真の中からもいろいろなメッセージが伝わってくると思います。ぜひ、ご意見、ご感想、原稿などお寄せください。(S)

社会福祉法人愛知いのちの電話協会
名古屋いのちの電話

2003年夏

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 ☎ 052-971-5181

郵便振替口座 00810-8-53758

相談電話 ☎ 052-971-4343

UFJ 銀行大津町支店(普) 477029

携帯相談電話 NTT ドコモ東海「# 9556」

2003年7月1日発行

発行人 長岡 利貞

編集人 広報委員会